



図書日和

2018年7月号

鹿児島中央高等学校図書館

平成30年7月17日発行

本格的な夏の到来です。図書館では、夏休みを前に本日から特別貸出を行います。時間に少しゆとりのある休み中に、涼しい場所で読書してみてもどうでしょうか。登場する人物との出会いや未知の世界の探検は、きっと皆さんを楽しませてくれると思います。今月号では、休み期間中の開館日を案内しますので、図書館を大いに活用してください。

私が薦める一冊の本 理科 宝満 元 先生

「僕が大人になったら～若き指揮者のヨーロッパ孤軍奮闘記～」 佐渡 裕 著／PHP 研究所

皆さんは小さい頃、日曜日の朝と言えばどんなテレビ番組を観ていましたか？私は戦隊モノや仮面ライダーなど観ていました。そんな日曜の朝、そのままテレビを付けっぱなしにしていたら始まるのが「題名のない音楽会」という番組です。そこで当時指揮を振っていたのが今回紹介する「僕が大人になったら」の著者であり、日本を代表する指揮者、佐渡裕さんです。

この本は佐渡さんが「ベルリン・フィルの指揮者になる」という夢をもってヨーロッパに行き、そこでの成功や失敗などの奮闘をえがいた一冊です。時には演奏者がドタキャンしたり巨匠と呼ばれる演奏者達とぶつかったりと苦悩の連続、それでもめげずに自分の音楽を貫き通していく姿が書かれています。この本を読んで音楽には国境が無く世界共通でつながれる素晴らしさがあるということ、またこの人の夢に対する姿勢や考え方、そのための努力の量にとっても感心し自分に一番足りない物だと考えさせられました。

皆さんにとっては知らない人の経験談なんて！と思うかもしれませんが、一人一人尊敬する人、あこがれている人がいるのでは無いでしょうか？自分にとって励みになる人、そのような本をみつけてみてはいかがでしょうか？この本で無くてもかまいません。是非図書館へ足を運んで皆さんにとってそういう一冊を見つけてみてください。



特別貸出を本日から始めます！

貸出冊数 10冊

特別貸出日 7月17日(火)～8月10日(金)

返却期限 8月21日(火)＊8月16日(木)以降借りた本の返却日は、1週間後です



夏休み中の図書館開館

A (8:30～16:30) B (8:30～12:00) C (13:00～16:30)

7月	23	月	A	7月	31	火	A	8月	8	水	休館
"	24	火	休館	8月	1	水	A	"	9	木	A
"	25	水	A	"	2	木	B	"	10	金	A
"	26	木	A	"	3	金	C	"	13～15	学校閉庁日 休館	
"	27	金	A	"	6	月	A	"	16	木	B
"	30	月	A	"	7	火	A	"	17	金	A

青少年読書感想文コンクール課題図書

図書館に所蔵しています

『わたしがいどんだ戦い1939年』 キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー 作 大作道子 訳 / 評論社

『車いす犬ラッキー：捨てられた命と生きる』 小林照幸 著 / 毎日新聞出版

『いのちは贈りもの：ホロコーストを生きのびて』 フランシーヌ・クリストフ 著 河野万里子 訳 / 岩崎書店

コンクールにチャレンジ
してみませんか!?

6月の貸出統計

1年 197冊

2年 57冊

3年 42冊

合計 296冊

学年	1年								2年								3年								
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数		11	13	45	22	15	20	20	51	23	1	2	0	3	4	22	2	0	0	1	2	18	8	4	9
合計		197								57								42							

1ヶ月に1冊も借りていない人が、たくさんいます。読書や探求学習、興味関心の拡大などに図書館の本を役立ててください。

新聞・雑誌を読もう！

図書館では、新聞・雑誌の利用が少ないようです。新聞・雑誌からさまざまな情報を得て、社会について考えるということとはとても大事なことです。自宅や図書館で、毎日一記事ずつを読むことから始めてみませんか。

<図書館所蔵新聞>

毎日新聞・朝日新聞
南日本新聞
日本経済新聞・週刊ST

<図書館所蔵雑誌>

AERA・蛍雪時代・きょうの健康・芸術新潮・ダ・ヴィンチ・栄養と料理
スポーツグラフィックナンバー・文藝春秋・DAYS JAPAN・大学への数学
ナショナルジオグラフィック・日経サイエンス・切り抜き速報版

『新聞大学』 外山滋比古 著 扶養社 この3冊は、新聞棚に置いています！

一本文より「すぐれた“見出し読者”になる。わからなくても、おもしろくなくても、はじめから、すべてのページに目を通す。(中略)見出しがわかるのは、かなりの力である。本文を読むより難しいかもしれない。」

『池上彰の新聞勉強術』 池上彰 著 文芸春秋

著者は、毎日、新聞1紙を読むという。数ある情報収集の手段から新聞を選ぶ理由として、短時間で世の中の動き全体を俯瞰できる「一覽性」、そして記者が現場を取材して書く記事の「正確性」の2点を挙げています。

『新聞力』 齋藤孝 著 筑摩書房

一本文より「新聞には、ニュースをはじめたくさんの情報がつまっています。社会のニュースというのは、言ってみれば世界で通用する貨幣のようなものです。」*8月に、著者の講演「真の学力を身につける～齋藤孝の新聞活用法～」が、鹿児島市で開催されます

7月の新着書



- 『未来』 湊かなえ 著/双葉社
- 『万引き家族』 是枝裕和 著/宝島社
- 『嫌われたくない』をどうするか?』 榎本博明 著/三五館
- 『鳥の行動生態学』 江口和洋編/京大学術出版会
- 『99%の人が速くなる走り方』 平岩時雄 著/筑摩書房
- 『未来の年表 2』 河合雅司 著/講談社
- 『航空宇宙工学入門』 室津義定 著/森北出版
- 『看護学概論』 島崎玲子他 著/医歯薬出版
- 『西郷どん!まるごと絵本』 東川隆太郎 さめしまことえ 著/燦燦舎
- 『少数異見』 水谷修 著/日本評論社

展示「NDC(日本十進分類法)3類 社会科学の本」



3類には、法律・政治経済・仕事・資格・教育・文化・行事などがあります。たとえば、316に分類される図書として、昨年話題書『わかりあえないことから』や『子どもの貧困』などを紹介し、366には資格や職業に関する図書、369には福祉や介護の図書などをわかりやすく展示しています。今後、大学図書館や公共図書館で探す場合にも役立ちます。8月は、「NDC5類」の予定です。

小論文コーナー



大学受験には小論文入試が課されていることが多く、めざす学部系統によって問われる内容も違います。これまでに学んだ教科や、めざす学部に関する基礎知識などを問われることもあり、幅広い知識が必要です。このコーナーには、小論文の書き方や例文に関するものやさまざまな分野の新書、新聞切り抜き資料などをまとめて置いています。隣接した書架には、新聞・雑誌・白書・天声人語などの資料もあります。

今月号の「私が薦める一冊の本」は、理科の宝満元先生が書いてくださいました。紹介された『僕が大人になったら』は、8月に新着書として図書館に入りしますので、皆さん読んでください。



図書委員会から



文化祭展示「あなたに始まりの一冊を～ブックトーク&POP～」は、先生方のご参加やたくさんの方々のご来場がありました。ありがとうございました。現在、一部を図書館に展示しています。